



いし
にわの石には、なにがかくれて
いるのかな？

なつみのための おはなし



にわに ^{ゆうがた} 夕方のかぜが そよそよ ふいて
いる。石 ^{いし} だ ^{うえ} た ^{しろ} みの 上に、白 ^{しろ} い ^{ちず} チョークの 地図が
うっすら ^{ひか} 光 ^{ふうりん} っていた。と ^な お ^{むし} く ^{こえ} で 風鈴が 「ちりん」と
鳴り、虫の 声も きこえてくる。



なつみは庭^{にわ}に出て、石^{いし}の道^{みち}にしゃがんだ。地図^{ちず}の
よこで、小^{ちい}さなほたるが「ぴかっ」と
光^{ひか}った。「ついておいでってことかな」むねが
わくわくした。



ほたるは ひらひら とんで、^{どうぐ ごや}道具小屋の まえまで
きた。たなの ^{ひか}ガラスびんが きらきら 光る。かべに
^{しろ やじるし}白い 矢印がかいてあった。「つぎは あっちだよ」と
なつみは つぶやいた。



かだん
花壇のすみに、まるくて大きな石が

あった。ほたるがちょこんととまる。むしめがねを
のぞくと、石の^{いし}な^{なか}くくるとうずまきのもようが
^{ひか}光っていた。「わあ、きれい」



なつみは^{いし}石を そつと りょう^て手でもった。ほたるは
うれしそうに「ぴかぴか」とまたいた。^{いし}石の^{みち}道
もどりながら、「ほかの^{いし}石もみてみたいな」と
つぶやいた。



おふとんにはいった なつみは、^{いし}石を そっと
まくらもとにおいた。まどの そとで、^{ひかり}ほたるの 光が
ぽわん、ぽわんと やさしく またたく。なつみは ^め目を
とじて、ゆっくり ねむっていった。

おはなしのあとで

よんだあと、いっしょに はなしてみてね

1

「ほたる」といっしょに石いしの もようを み見つけた
とき、なつみは どんかおな 顔を おもしていたと思う？

2

にわの なか中で、なつみが いちばん すきな ばしょは
どこだったかな？



おやすみなさい、なつみ

きょう まな
今日の 学び — こうきしん

ちい いし なか
なつみは 小さな 石の 中にかくれた もようを
み
見つけて、じっくり かんさつ したね。

はなし
この お話は、なつみの ためにつくりました。また
あした、いっしょに ふしぎを さがそうね。